

All Star Challenge Competition 2017／Challenge Competition 2017 WEST 競技規定 -All Star Prep Cheer-

赤字: Summer Competition 2016からのルール変更・追加

1. 出場資格

- ① オールスターのチームであること(クラブチーム及び小学校団体のチーム)
- ② 2017年4月2日時点の学年(年齢)で構成されたチーム(性別不問)であること
- ③ チームのメンバー構成が該当する編成と部門を選択すること
- ④ 1人が同一編成・同一部門の2チームにエントリーすることはできない
(異なる編成であれば、同じ部門にエントリー可能)

※All Star Prep Cheer部門のLevel 違いは同一部門となる、Levelの違いは部門の違いとはならない

＜例＞ Youth編成 All Star Prep Cheer部門 Level1と、Youth編成 All Star Prep Cheer部門 Level2 には、エントリー不可
Youth編成 All Star Prep Cheer部門 Level1と、Junior編成 All Star Prep Cheer部門 Level1 には、エントリー可

- ⑤ 5名以上30名以下で構成されていること

2. 編成・部門・人数区分

「編成」とは …年齢や学年に応じたチーム構成のこと
「部門」とは …演技ジャンルのこと (Pom部門、Jazz部門など)
「人数区分」とは…人数に応じた区分のこと (Small、Largeなど)
※人数区分の有無は部門により異なる



◆各大会において編成及び各部門のエントリー数が少ない場合は、それらをまとめてオープン部門とする場合がある
審査は各部門の内容に準じて行い、オープン部門内で順位が決定する

＜編 成＞

Mini(ミニ)編成	全員が小学4年生以下
Youth(ユース)編成	全員が小学6年生以下
Junior(ジュニア)編成	全員が中学3年生以下
Senior(シニア)編成	全員が高校3年生以下
Open(オープン)編成	全員が中学3年生以上(上限年齢なし)

チームの年齢にあった編成を選択すること

＜例＞全員が中学生以下の場合、Senior編成ではなくメンバーの最高年齢に合わせ、Junior編成を選択しなければならない

＜部 門＞

部 門 名		実施編成	特 徴
All Star Prep Cheer 部門	難度レベル		
	Level 1	・Mini編成 (Level1のみ)	チアリーディングの要素(アームモーション、スタンツ、タンブリング、ダンス、ジャンプ等)で構成された最初から最後まで音楽を使用した演技 タンブリング・スタンツはLevel毎(※)に規定された難度制限の範囲で行う
	Level 2	・Youth編成 (Level1・2のみ)	
	Level 3	・Junior編成 ・Senior編成 ・Open編成	

(※) All Star Prep Cheer 部門 Level について

- ・タンブリング、スタントの難度によってLevel 1~3 に分かれる
- ・編成によって選択できるLevel が限定される

編成/Level	All Star Prep Cheer部門		
	Level1	Level2	Level3
Mini	★	-	-
Youth	★	★	-
Junior	★	★	★
Senior	★	★	★
Open	★	★	★

*1 『2016-17 USASFセーフティールール』を参照し、選手とチームとしての能力を考慮し、レベルを選択すること

*2 All Star Prep Cheer部門では、すべての編成において、LEVEL4以上の部門は設定されていません

< 人数区分 >

1) All Star Prep Cheer部門では、人数区分の設置はありません

2) ただしエントリーが集中した場合は、公正な審査実施のため人数に応じて細分化される

【 例: Junior編成 All Star Prep Cheer部門 Level2 A (5~20名)/Junior編成 All Star Prep Cheer部門 Level2 B (21~30名)など 】

※分割される人数は部門のエントリー数によって変動する

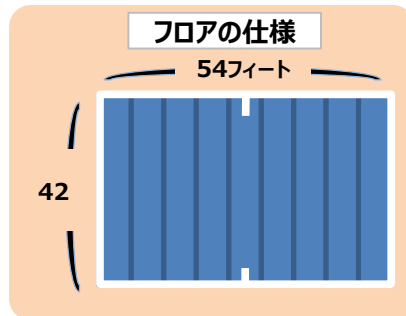
※表彰は分割後の区分毎に行う

3. 演技内容

- ◇ 使用楽曲は事前に歌詞内容を確認し、大会指針に沿って、適切であるかを見極めること
大会当日に大会運営側から使用楽曲の歌詞内容について確認要請があった場合には、
その場で歌詞内容を確認できる資料(外国語の場合は、訳詞・原文の両方)を提出して頂きます
尚、訳詞内容のみならず、下品なスラングの入った楽曲の使用は禁止する
- ◇ 音楽や振り付けは、スポーツシーンに合った内容で行われ、演技はすべての観客のために
適切かつエンターテインメント性に富んでなければならない
下記の内容に該当する場合は、減点チェックシート上の「演技内容」において減点となる場合がある
 1. 振り付けにおいて紛争や抗争をイメージさせる内容
 2. 人を威嚇するジェスチャー
 3. 不快感を与える演出やメイクアップ
- ◇ チアリーディングの要素(アームモーション、スタント、タンブリング、ダンス、ジャンプ等)を組み入れた構成とすること
- ◇ 演技中は最初から最後まで音楽を使用すること
- ◇ 『2016-17 USASF セーフティールール』に加えて以下の内容にも沿った振付けであること
 - トスは禁止 (注)スポンジトス(/ロードイントス/スクイッシュトス)も含む
 - (注)ウエストレベルからのクレイドルは全て禁止

4. 演技フロア

- ◇ 奥行42フィート(12.8m)×幅54フィート(16.5m)のチアマット上となる
(フロア内の前後にセンターの印あり)
- ◇ 演技に無関係なアイテムの演技フロアへの持ち込みは禁止
【例】チームのぬいぐるみ、手具として使用しない小道具など
- ◇ メンバー全員で演技フロアに入場し、演技中の出入りは不可
- ◇ 演技者以外のフロアへの立ち入り及び演技者以外が演技に関わる行為は禁止
【例】演技者以外の手具・大道具の設置補助や選手への指示出しなど



5. 演技時間

- ◇ **演技時間は、2分以内** とする
- ◇ 計測方法は、音楽または動作の開始をもって開始し、音楽・動作の両方の完了をもって終了とする
- ◇ チーム名が読み上げられたら、メンバー全員で速やかにフロアに入場すること
- ◇ フロアへの入場・退場は、合わせて30秒以内に速やかに行うこと

6. 演技のトラブルについて

- ◇ **大会運営側は怪我の発生等、安全性に問題があると判断した場合、または大会運営に支障があると判断した場合、演技を中断する権利を持っている**
 - ◆ 怪我が原因で演技を中断した場合、改めて1曲通して再演技できるが、審査は演技中断以降の部分のみが対象となる
 - ◆ **演技前、演技中に**運営側の問題(音響機材や施設の不備・故障など)や不測の事態で演技が妨げられた場合、改めて1曲通して再演技できるが、審査は演技中断以降の部分のみが対象となる
 - ◆ **演技前、演技中に**チーム側の問題(道具の不備やチームの責任によるトラブル)が発生した場合、チームは演技を続ける必要がある。場合によっては、チームは再演技の申請ができるが、「演技順の変更の申し出」として減点3点が課せられ、1曲通しての審査となる
 - ◆ **大会運営側が、演技・ユニフォーム・衣装等が不適切と判断し、演技を中断した場合、3点の減点となる**
不適切な部分の改善が確認できた場合、改めて1曲通して再演技できるが、審査は演技中断以降の部分のみが対象となる
- ◇ 再審査が演技中断以降のみの場合も、演技は予定の内容を1曲通して行うこと(怪我の影響部分は除く)
審査は、ジャッジによって決定された演技中断箇所から再開する
演技中断までに発生した減点はすべて反映される
原則、演技は開始からすべてのスキルを実施しなくてはならないが、すべてのスキルが行えなかった場合、そのチームの得点をどのように取り扱うかについては、大会運営側の判断によって決定される
- ◇ **チーム代表者(音響担当者)は、音響席にある旗を揚げることで自ら演技を中断し棄権できる**
(※審査対象外扱い)
- ◇ すべての再演技の判断(実施の有無・タイミングなど)は、大会運営側が行う

7. 審 査

<得点算出方法>

- ◇ BUILDING得点、TUMBLING得点、OVERALL得点の合計(80.8点満点)を100点満点換算した結果から減点を反映させた点数を得点とする
- ◇ 審査は3つのカテゴリー(BUILDING・TUMBLING・OVERALL)ごとに、ジャッジ計4～5名で行う
- ◇ 各項目の採点方法は『2016-17 VARSITY ALL STAR PREP スコアリングシステム』参照
《All Star Cheer部門との違い》
 - ※STUNTS、PYRAMID、TUMBLINGの難度点(Difficultyスコア)はLOWレンジの4.0点が最高点、JUMPの難度点は4.8点が最高点。
→必要スキル要素が少ない分、より実施(TECHNIQUE)が重視されます。
 - ※TOSS、STUNTS/COED QUANTITYはなし

<減 点>

- ◇ 『2016-17 VARSITY ALL STAR PREP スコアリングシステム 減点システム』参照
- ◇ 違反の内容によっては、減点ではなく警告または審査の対象外となる場合もある

<順 位>

- ◇ 順位は各大会において、各編成・部門・人数区分毎にチームの得点(減点后)をもって決定する
- ◇ オープン部門については、各編成・オープン部門内で順位が決定する(審査は各部門の内容に準じて行われる)

8. 表 彰

<評 価>

- ◇ 競技部門を対象に、チームの得点に基づき以下の通り評価を行う(3区分)
評価の記したリボンを登録メンバー(選手・補欠)分お渡しする

チームの得点 LEVEL1(*)～6	区分
93.00 ～100.00	Superior
82.00 ～ 92.99	Excellent
～ 81.99	Outstanding

(*)80.8点満点で採点した得点を100点満点換算して判定する

- ◇ 審査対象外部門(Half-Time USAのみ)は、公認インストラクターによるコメントシートをお渡しする
(得点は出ません)
また、スピリットにあふれるチーム・会場を盛り上げたチームは「グッドスピリットチーム」として表彰する

<入賞・特別賞>

- ◇ 表彰式は各日行うものとする
- ◇ 各編成・部門毎(人数区分のある部門に関しては人数区分毎)に得点の高い順に入賞が決定
※入賞枠はチーム数によって異なります
- ◇ 入賞以外に特別賞(ベストインプレッション賞・チアアップ賞)を設けるものとする
特別賞の数は、大会・各編成・部門のエントリー数によって変動する